



SANSHIN GROUP
Monthly Report on the ESG
Jan.2020

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report (品質)
4. ESG Report (環境)
5. ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

TOP MESSAGE

今年の世界の食と栄養のトレンドワードは、“プラント・ベースド”と“食品ロスの削減”であるをご存知でしょうか。プラント・ベースドは聞いたことが少ないと思いますが、要は動物性食品の代わりに肉の代用品や穀物、豆や種実、野菜などの植物性食品を積極的に取り入れようという食生活のことです。SDGsが決められてから、主に欧米では認識されていたプラント・ベースドですが、今年は先進国を中心に一般的に認知され、将来的には世界標準になっていくと考えられています。欧米で「Meatless運動」が広がっており、環境破壊という点で問題視されている牛肉の消費量を削減する取り組みがあります。ダイエットや健康だけの植物性食品の摂取を意識している人は多いと思いますが、環境活動の意識をもった食品接種も考える食生活も意識することが必要となるだろう。

サンシン電気株式会社 取締役
河原 崇

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

年始より新型コロナウイルスが流行っており、世界中に拡がる様相を呈しております。ここ日本では、季節病のインフルエンザや花粉症の経験があり病気や清潔な生活に対して、非常に高い意識があるので、うがいや手洗い慣行など常識となっており、マスクも花粉対策で多くの国民が慣れ親しんでおりそして何より他人や社会に対し迷惑をかけないという国民性なので、病気に対しても過剰な反応は見られないと思います。各国の対応の報道を見ると、その国民の反応や、取り組みには驚かされるばかりです。標準規格や数値化マネージメントの重要性が垣間見られました。また、「郷に入っては郷に従え」などと言いますが、海外駐在員の方々は常に危険と隣り合わせだ。と感じた瞬間でした。(K.Y.)

SANSHIN Hong Kong

Sanitation is a massive ongoing problem that the government has been unable to address. 21% of India's poor has access to toilets versus 62% of the non-poor. Most of people are those who live in urban slums and rural areas without access of toilets. A large population in the rural areas still defecates in the open. (K.N.)

CSI

セブ最大のお祭りシノログが1月19日(日曜日)の予定です。遠隔操作ボム爆発を懸念し、前日と当日2日間、セブ市内(LAPULAPU含)祭り周辺のインターネット及び携帯電話を不通にする予定との事。今年もテロが起きないように願っております。(K.S.)

SANSHINWest

日常の中のSDGsアクションについて考えました。流行服ではなく長く着られる服装を心掛けることでゴミが減りCO2削減に繋がる、生物多様性の保持ができ水の汚染が減少する、など6つの目標を達成できます。一見関係無さそうでも意識してみることがSDGsの始まりだと思います。(N.K.)

SHINKOWA

ペットボトル、お惣菜のトレーのリサイクルや、スーパーマーケットの購入品入れビニール袋有料制など、環境に関する関心が定着してきており、私もリサイクルやMyビニール袋を持ち歩いて買い物に出かけるようになりました。地道な事ですが継続する事が大事だと思う今日の頃です。(M.N.)

SC2

ダボス会議では、有名なグレッタさん以外にも10代の若者が10名くらい参加されたそうです。彼らは国籍も肌の色もいろいろで、実はそのことも隠れたテーマとなったようです。環境問題にしろ、人種や性別による差別にしろ、人間は「これまでの判断基準、価値基準」つまり「過去」をものさしにしがちです。本当にそれでいいのでしょうか?そんなことを考えさせられた機会でした。(M.I.)

ESG Report (品質)

TOPICS

モチベーションを維持するには

モチベーションを維持し続けることは、結果を出すためにはとても重要なことです。しかし、持続が難しいという人も多いでしょう。

■ 小さな目標から設定する

短期的に達成出来る小さな目標と、長期的な大きな目標に分けて、段階的に達成していくことが大切です。いきなり大きな目標を達成するのは難しいので、小さなことから設定します。「今日1日はこれをやる」という目標を設定するほうが、モチベーションを維持出来ます。日々出来る事を決め習慣化し積み重ねていけば、数ヶ月後には大きな目標を達成が可能となります。

■ オンとオフを使い分ける

24時間モチベーションを維持し続けることは難しいでしょう。仕事とプライベートを分け、仕事中は目標に向かって集中し、プライベートでは趣味や休憩に使いましょう。

■ 進捗を確認する

ここまで何を達成出来たかを把握し、最終的な目標のどこまで到達しているかを確認出来れば、次に何をすべきかが明確になります。

■ 協力し合える仲間を作る

一人でモチベーションを維持し結果を出し続けることは難しいものです。そんなときは、周囲の人の力を借りるとよいでしょう。思考が整理され前向きになれることもあります。アドバイスをもらえば、自分では考えつかない解決法が見つかる場合もあります。

モチベーションを維持するための方法を知り、自分にあった意欲が向上するための方法を今後役に立ててください。

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

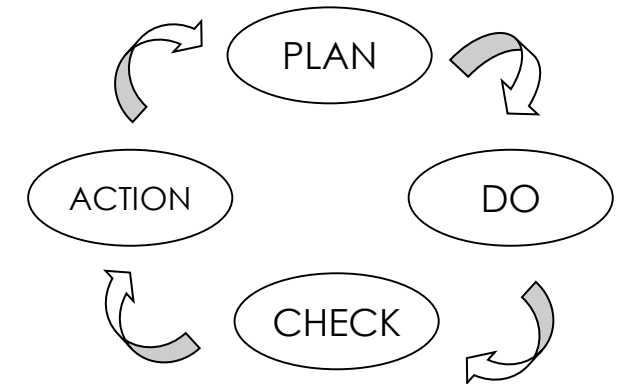
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



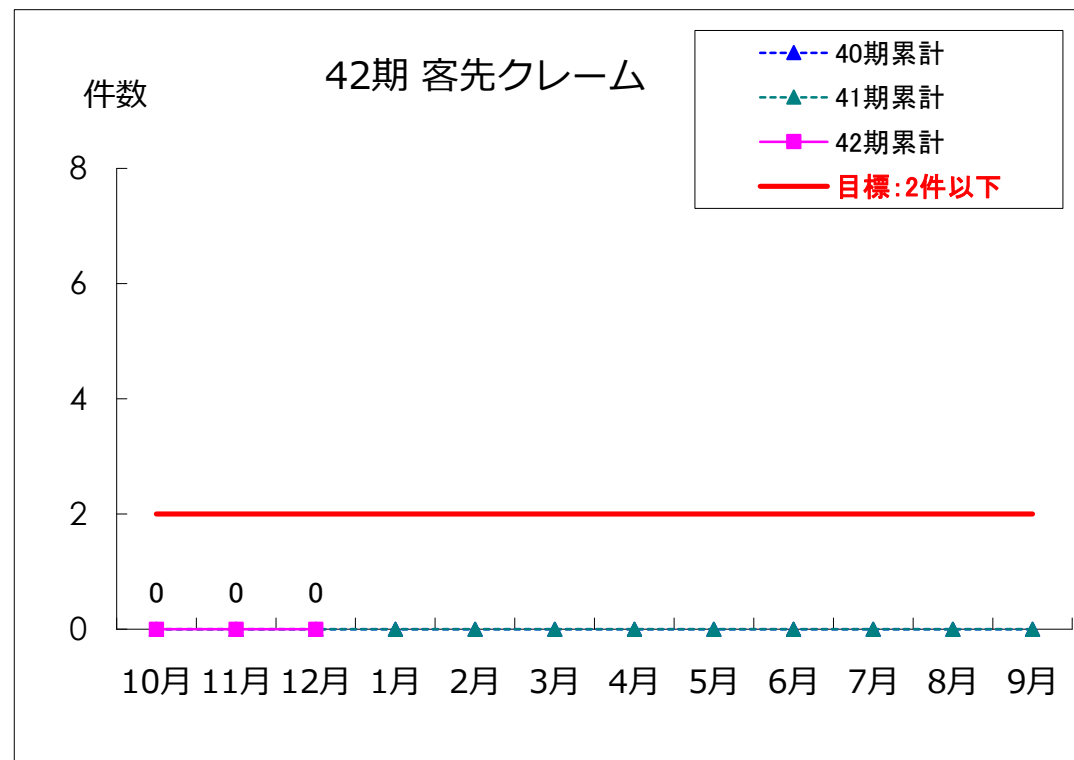
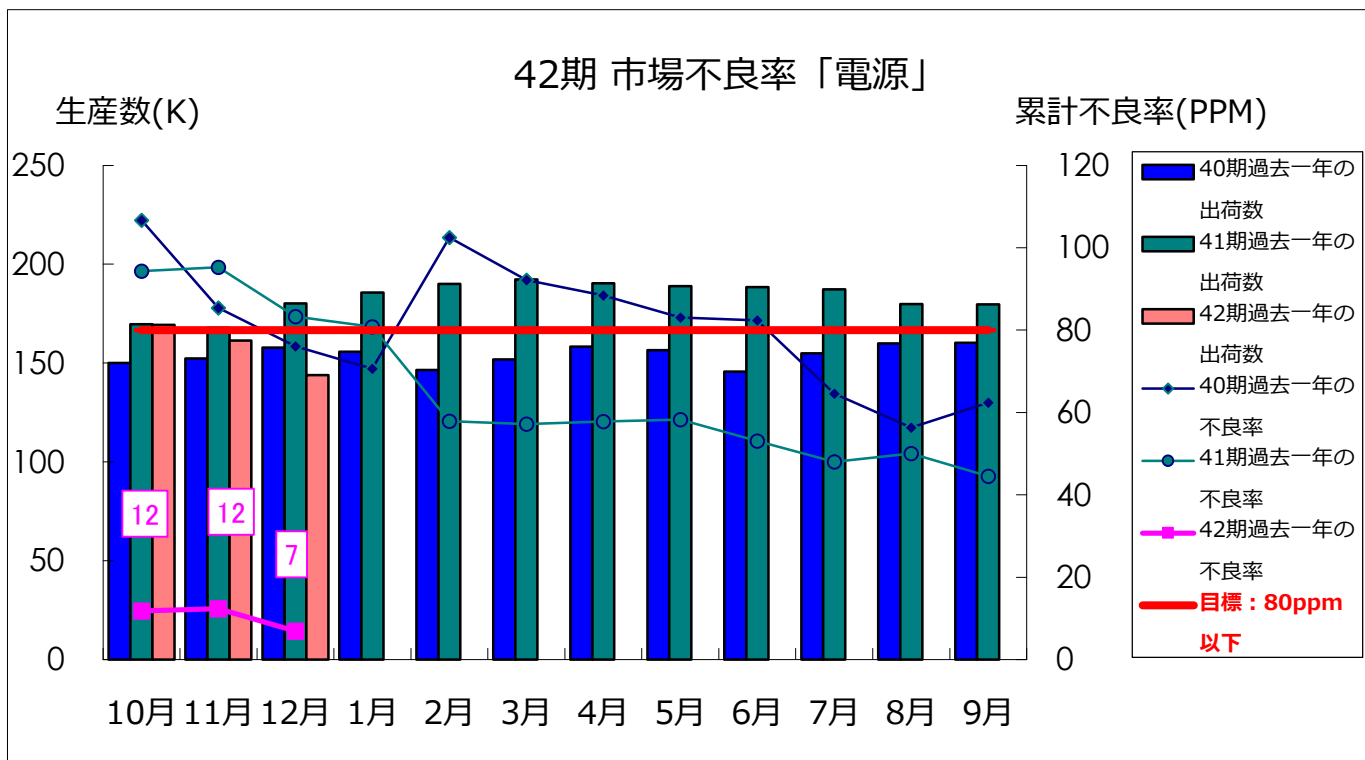
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入不良率 目標 80ppm

42期の累計不良率は、7ppm です。
 市場不良累計(過去1年分) : 1件 客先クレーム : 0件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

□ 1964年（昭和39年）と2020年（令和2年）の東京オリンピックを比較しよう

いよいよ迎える東京オリンピック。

1964（昭和39年）年の東京オリンピックをご存知の方は、2020年（令和2年）に行われる東京オリンピックと比較をしながら楽しむことができます。当時はなかった競技種目が追加され、存在していなかった競技場もできており、時代の流れを感じることもできるでしょう。

この記事では、2020年（令和2年）の東京オリンピックをさらに楽しめるよう、1964年（昭和39年）の東京オリンピックの概要をおさらいします。

☑ 東京オリンピック1964年（昭和39年）の来場者数

1964年に日本に来た訪日外国人旅行者の数は、35万人でした。

そこから54年後の2018年の訪日外国人旅行者は3,119万人。

そして、1964年の訪日外国人旅行者数35万人のうち、オリンピック関係の観光客は、約5万人だったそうです。

その内、選手や大会関係者が9千人となっており、純粋にオリンピックを観るために日本を訪れた訪日外国人旅行者は、約4万1千人となります。(推定)

2020年の東京オリンピック期間に日本を訪れる方は、どれくらい増えるのでしょうか。

☑ 東京オリンピック1964年（昭和39年）の聖火ランナー

東京オリンピック1964年（昭和39年）の聖火は、開会式の約2ヶ月前にギリシャをスタートしました。トルコ、インド、マレーシア、フィリピン、香港など世界の11箇所の中継地を経て、沖縄に到着しました。

日本国内では全都道府県を回ることを前提にコースが組まれ、参加リレー走者は10万713名という記録が残っています。最終聖火ランナーは坂井義則氏でした。坂井氏は広島県出身で、戦時中に出生したそうです。聖火ランナー最終走者を経験しているからこそ、「オリンピックは平和の祭典であってほしい」という想いが人一倍強かったようです。

2020年（令和2年）の聖火ランナーは2019年の6月中旬から募集が始まりました。選ばれる対象となるのは、2008年4月1日以前に生まれたすべての人で、国籍や障害の有無、性別、年齢などバランスを考えながら選ばれます。国や地方自治体の首長、政治団体のトップなどは聖火ランナーになれません。宗教活動に利用することも禁止されています。

今月のTOPICS

☑ 東京オリンピック1964年（昭和39年）と東京オリンピック2020年（令和2年）の開催場所と競技内容
1964年（昭和39年）と2020年（令和2年）の東京オリンピックの開催場所と競技内容は以下の通りとなります。

☐ 2020年（令和2年）東京オリンピック

開催場所	競技内容	開催場所	競技内容
オリンピックスタジアム（新国立競技場）	開会式・閉会式、陸上競技、サッカー	カヌー・スラロームセンター	カヌー（スラローム）
東京体育館	卓球	夢の島公園アーチェリー場	アーチェリー
国立代々木競技場	ハンドボール	東京アクアティクスセンター	水泳（競泳、飛込、アーティスティックスイミング）
日本武道館	柔道、空手	東京辰巳国際水泳場	水泳（水球）
皇居外苑	陸上競技（競歩）	幕張メッセ Aホール	テコンドー、レスリング
東京国際フォーラム	ウェイトリフティング	幕張メッセ Bホール	フェンシング
国技館	ボクシング	釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ	サーフィン
馬事公苑	馬術（馬場馬術・総合馬術・障害馬術）	さいたまスーパーアリーナ	バスケットボール
武蔵野の森総合スポーツプラザ	バドミントン、近代五種（フェンシング）	陸上自衛隊朝霞（あさか）訓練場	射撃
東京スタジアム	サッカー、ラグビー、近代五種	霞ヶ関カントリー倶楽部	ゴルフ
武蔵野の森公園	自転車競技（ロード）	江の島ヨットハーバー	セーリング
有明アリーナ	バレーボール	伊豆（いず）ペロドローム	自転車競技（トラック）
有明体操競技場	体操	伊豆（いず）MTBコース	自転車競技（マウンテンバイク）
有明アーバンスポーツパーク	自転車競技（BMX）、スケートボード	富士スピードウェイ	自転車競技（ロード）
有明テニスの森	テニス	福島あづま球場	野球・ソフトボール
お台場海浜公園	水泳（マラソンスイミング）、トライアスロン	横浜スタジアム	サッカー
潮風（しおかぜ）公園	バレーボール（ビーチバレーボール）	札幌ドーム	
青海（あおみ）アーバンスポーツパーク	バスケットボール（3X3）、スポーツクライミング	宮城スタジアム	
大井ホッケー競技場	ホッケー	茨城カシマスタジアム	
海の森クロスカントリーコース	馬術（総合馬術）	埼玉スタジアム2002	
海の森水上競技場	カヌー（スプリント）、ボート	横浜国際総合競技場	

今月のTOPICS

□ 1964年（昭和39年）東京オリンピック

開催場所	競技内容
日本武道館	柔道
後樂園	ボクシング
代々木競技場	水泳・バスケットボール
渋谷公会堂	ウェイトリフティング（重量挙げ）
東京体育館	体操・水泳
国立霞ヶ丘陸上競技場	陸上・蹴玉・馬術
駒沢オリンピック公園総合運動場	蹴玉・レスリング・バレーボール・ホッケー
八王子ロードレースコース	自転車
相模湖	カヌー
所沢クレー射撃場	射撃
馬事公苑	馬術
早稲田大学記念会堂	フェンシング、近代五種
後樂園アイスパレス	ボクシング
駒沢陸上競技場	サッカー
秩父宮ラグビー場	
東京都体育館屋内水泳場	水球

野球、ソフトボールは2008年北京オリンピック以降行われていませんでしたが、2020年の東京オリンピックでは復活します。オリンピック史上初の競技として、空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィンが新たな種目として追加されました。東京体育館、国立代々木競技場、武道館、馬事公苑、陸上自衛隊朝霞あさか訓練場、江ノ島ヨットハーバーなど、1964年東京オリンピックで使われた場所が今回も使われます。オリンピックスタジアムは、国立競技場を建て替え、開会式、閉会式をはじめ、陸上やサッカーが行われる予定です。東京国際フォーラムや国技館、有明テニスの森、有明アリーナなど新しい施設も使用されます。1964年に比べて2020年の東京オリンピックは、もちろん競技も増えていますが、開催場所も2倍以上増えていることが分かります。

今月のTOPICS

☑ 東京オリンピック1964年（昭和39年）によるインフラの発達

1964年の東京オリンピックは、日本はアジアで初めての開催国として選ばれました。当時からオリンピックは大きな経済効果が期待でき、より便利で豊かな国になれるチャンスと捉えていました。東京オリンピックが開催されたことにより発達したインフラの実例を、いくつかご紹介します。

☑ 東海道新幹線の開通

東京オリンピックが開催されたことで、東海道新幹線も開通しました。オリンピック以前からJR東海道本線（在来線）はありましたが、多くの人々が短い時間で移動するのは難しい状況でした。そんな中、国をあげて取り組んだのが、東海道新幹線です。

オリンピック開催の5年前となる1959年4月20日に着工しましたが、オリンピック開催に間に合うかどうかはギリギリのスケジュールでしたが東京オリンピック開催日の10日前となる1964年10月1日に無事に開通しました。

☑ 東京モノレール

現在でも羽田空港へ行くのによく使われる東京モノレール。東京モノレールも1964年の東京オリンピックに合わせて作られました。

1964年9月に浜松町駅から羽田駅（現・羽田空港駅）間が開通しました。

☑ 当時の来場者はどのようにして会場へ向かったか

東京オリンピック1964年（昭和39年）の開催に伴って、交通機関も発達しました。当時、オリンピックを見に行った人々はどのような交通手段を使って会場に向かったのでしょうか。

東京近郊や都内に住んでいた人の交通手段は電車や自動車がメインになるため、自動車で会場に向かう人たちを予想して、道路も整備されました。

環状七号線（通称「環七」）も、駒沢オリンピック公園、馬事公苑、陸上自衛隊朝霞訓練場（ライフル射撃競技の開催場所）、戸田漕艇場（ボート競技の開催場所）などにアクセスしやすくするための主要な道路として開発されました。

今月のTOPICS

☑ 東京オリンピック1964年（昭和39年）のために建てられた建築物

作られたのは交通機関だけではありません。オリンピック会場となる建物やスタジアムなど、オリンピックに関連する様々な建築物が建てられました。その中でも有名なものを中心にいくつかご紹介します。

☑ 日本武道館

皇居に隣接し、今でもコンサートやスポーツの大会などで使用される「日本武道館」も1964年の東京オリンピックに合わせて建てられました。東京オリンピック1964年（昭和39年）で柔道が正式にオリンピック競技に加わり、この日本武道館で行われました。

☑ 国立代々木競技場

日本を代表する以下の建築家3人によって設計され、吊つり屋根方式を用いた独特のデザインが評価されました。

- 建設・総合意匠：丹下健三氏（東京大学助教授）
- 構造：坪井善勝氏（東京大学教授）
- 設備：井上宇市氏（早稲田大学教授）

1964年の東京オリンピックでは、第一体育館は水泳、第二体育館はバスケットボールが行われました。

☑ ホテルオークラ

オリンピック前は訪日外国人の数が少なかったため、旅館などの日本独自の宿泊施設はあったものの、現在のように外資系ホテルの数は多くありませんでした。

オリンピックで外国人旅行者も増えると見込み、グローバル・スタンダードに準じたホテルが次々と建設されました。

ホテルオークラもその一つとして建設され、オリンピック後もVIPの宿泊施設として利用されてきました。

☑ NHK放送センター

NHK放送センター（旧 東京放送会館）は元々、日比谷にありました。1964年の東京オリンピックで放送センターとして利用されていた建物が、オリンピックの後、正式にNHKの本部として位置づけられ、渋谷区に移転しました。

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③コピー用紙使用量
- ④電力使用量
- ⑤切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

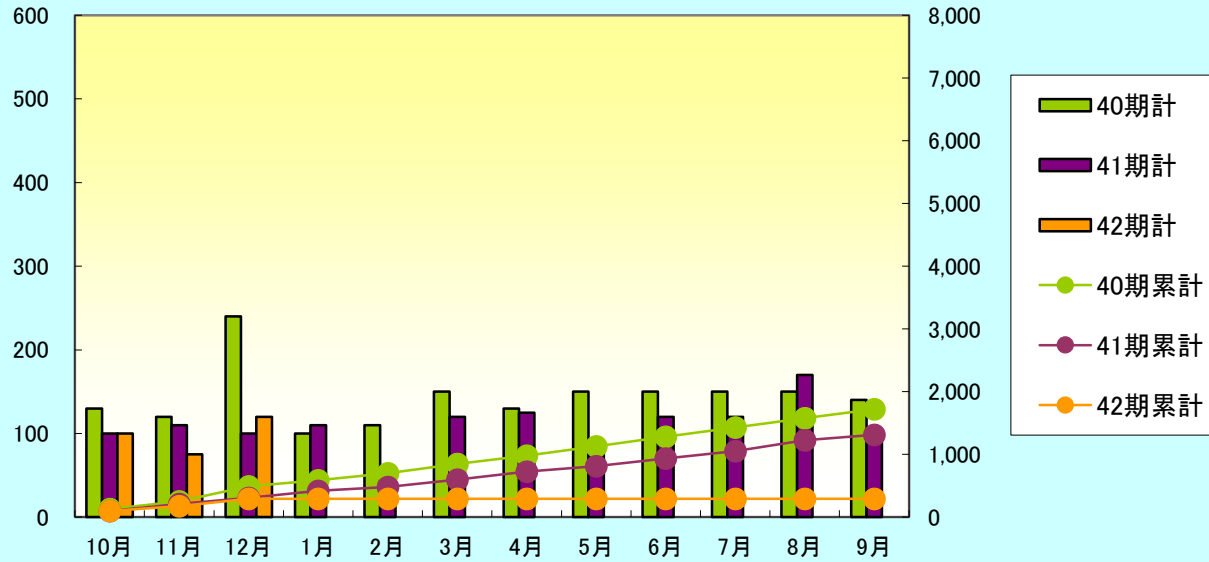
- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



一般廃棄物(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kg)

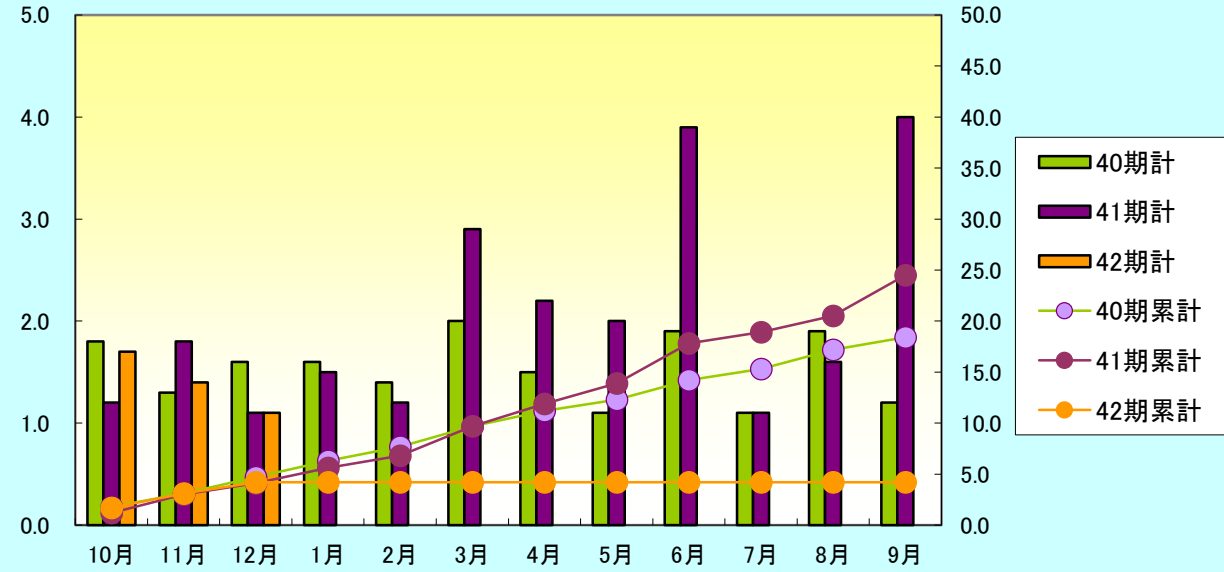
累計/折れ線(kg)



一般産業廃棄物(SSD/本社)

月次/棒グラフ(m³)

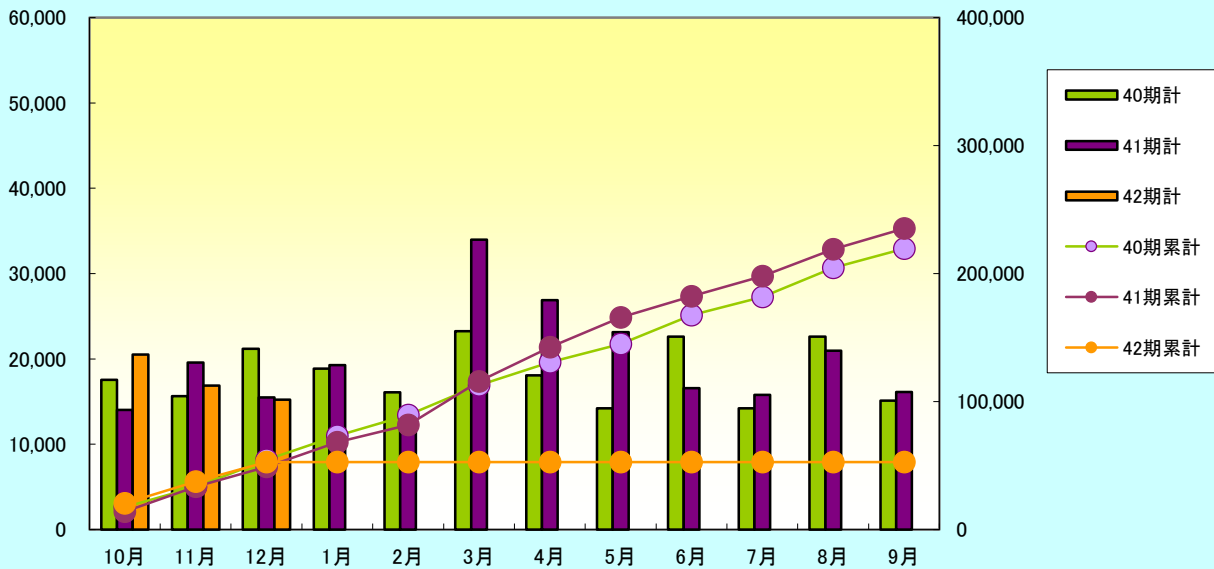
累計/折れ線(m³)



廃棄物処理金額累計

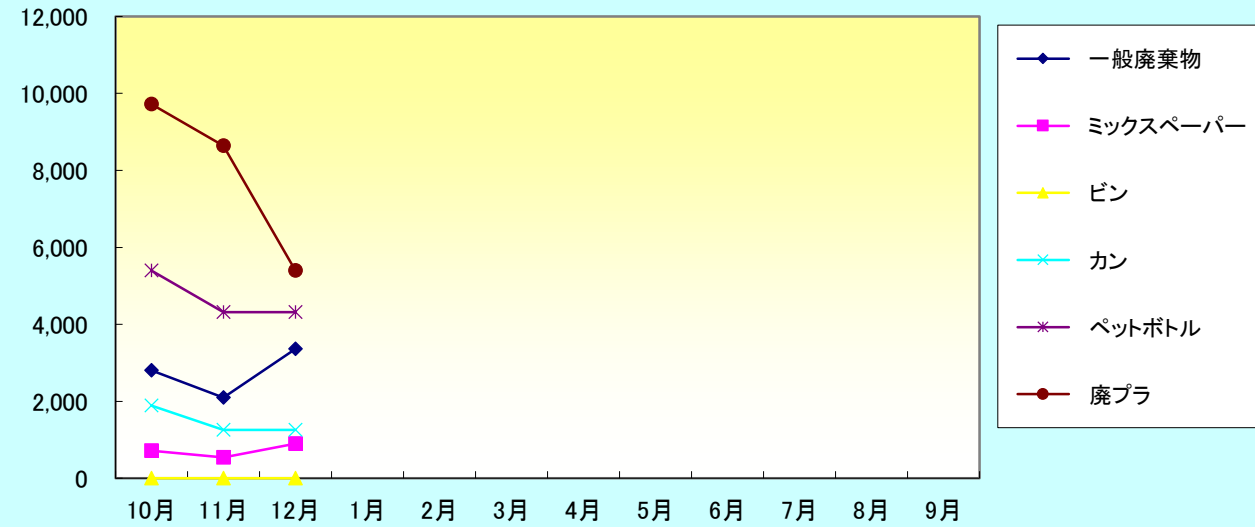
月次/棒グラフ(円)

累計/折れ線(円)



41期 廃棄物処理金額

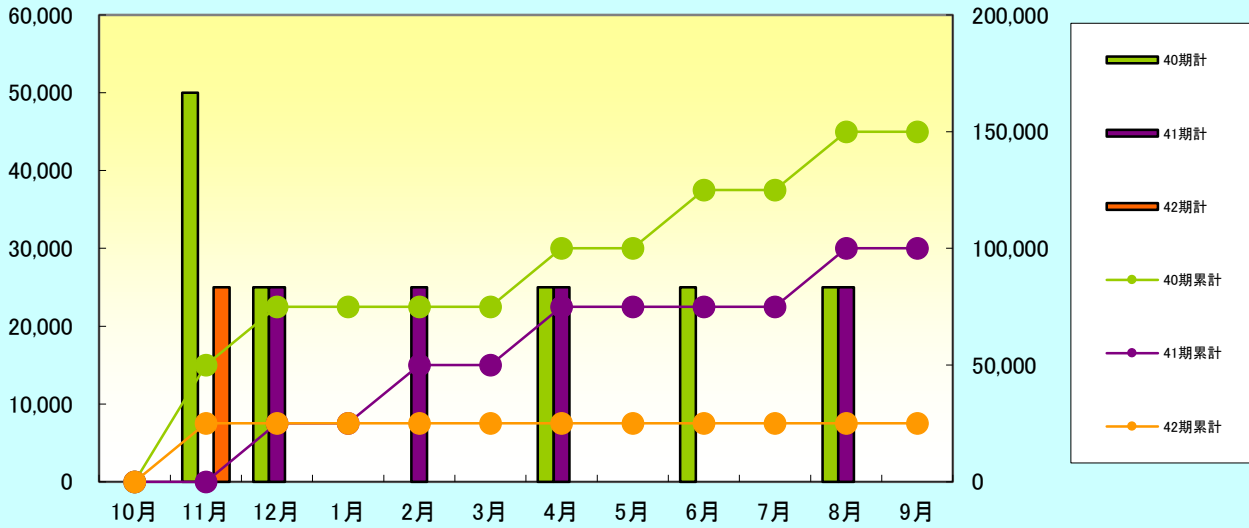
(円)



コピー用紙購入量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(枚)

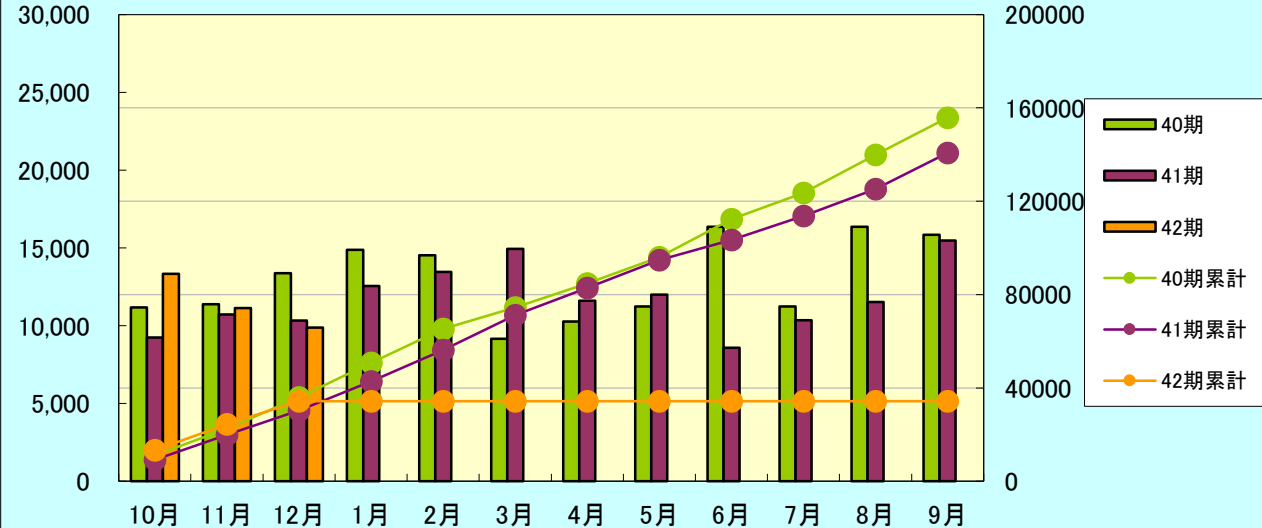
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

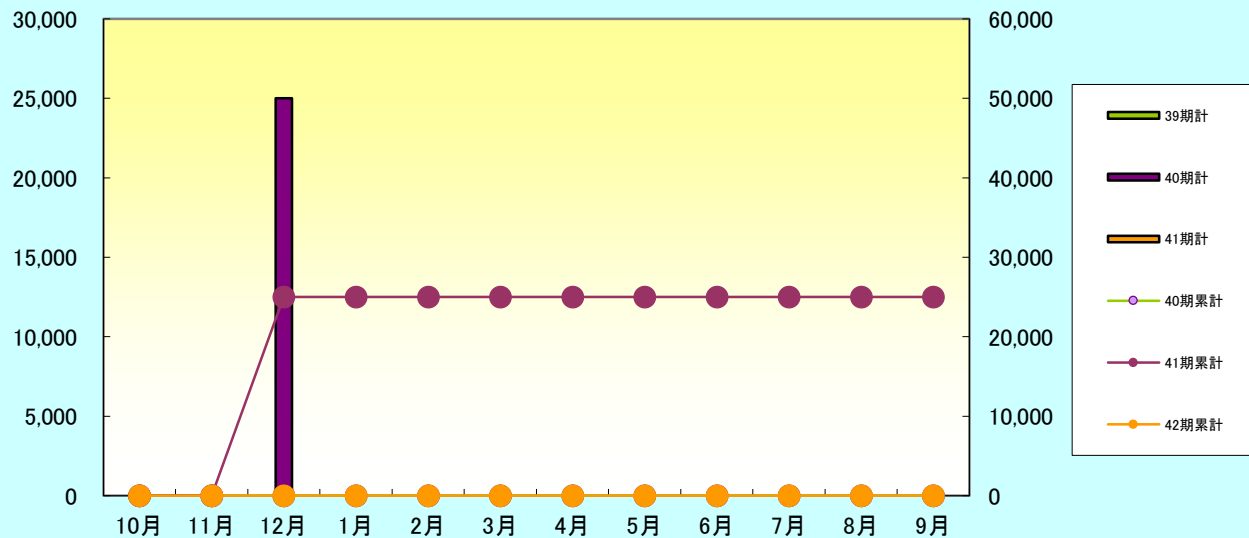
累計/棒折れ線(kwh)



コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(枚)

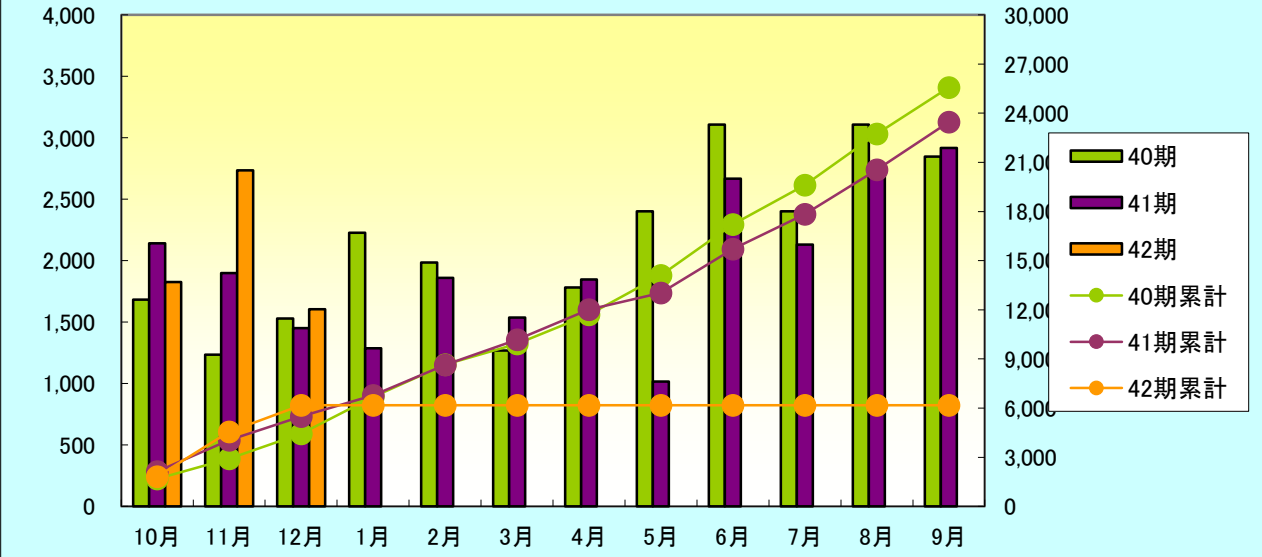
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

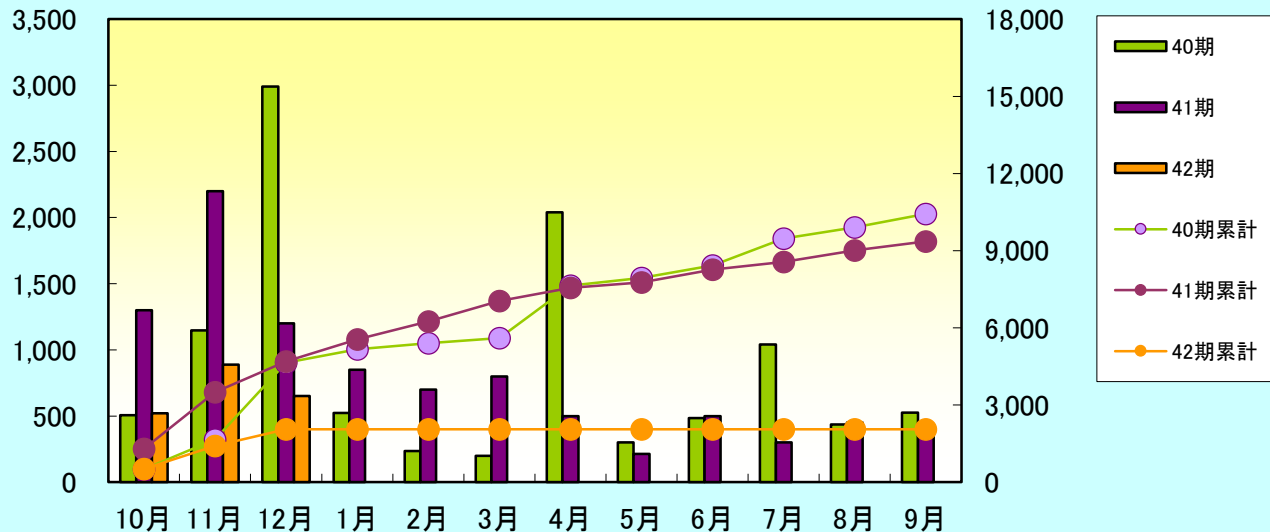
累計/折れ線(kwh)



ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

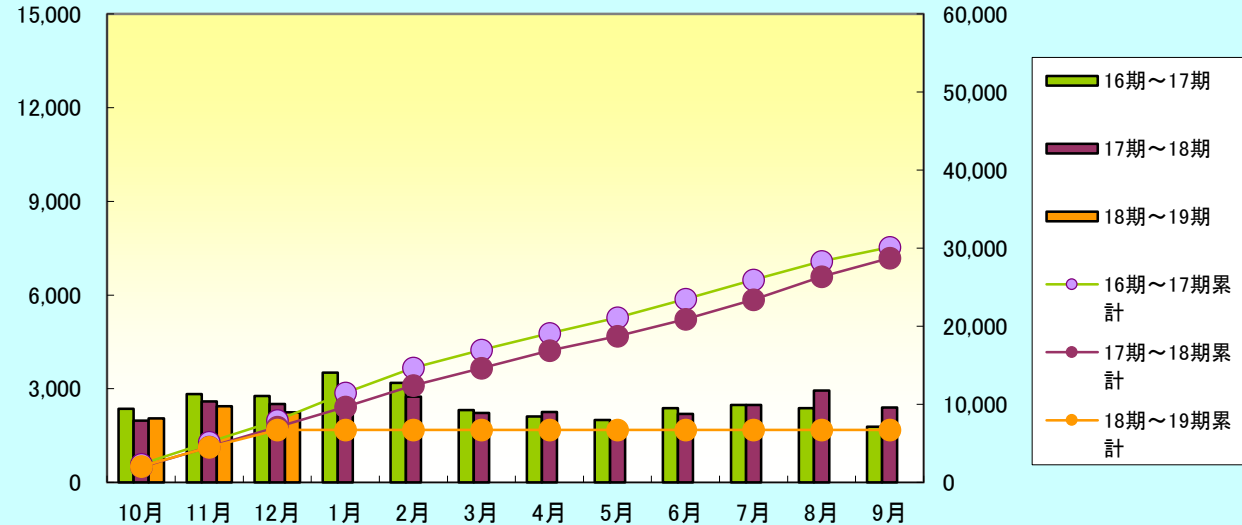
累計/折れ線(個)



電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

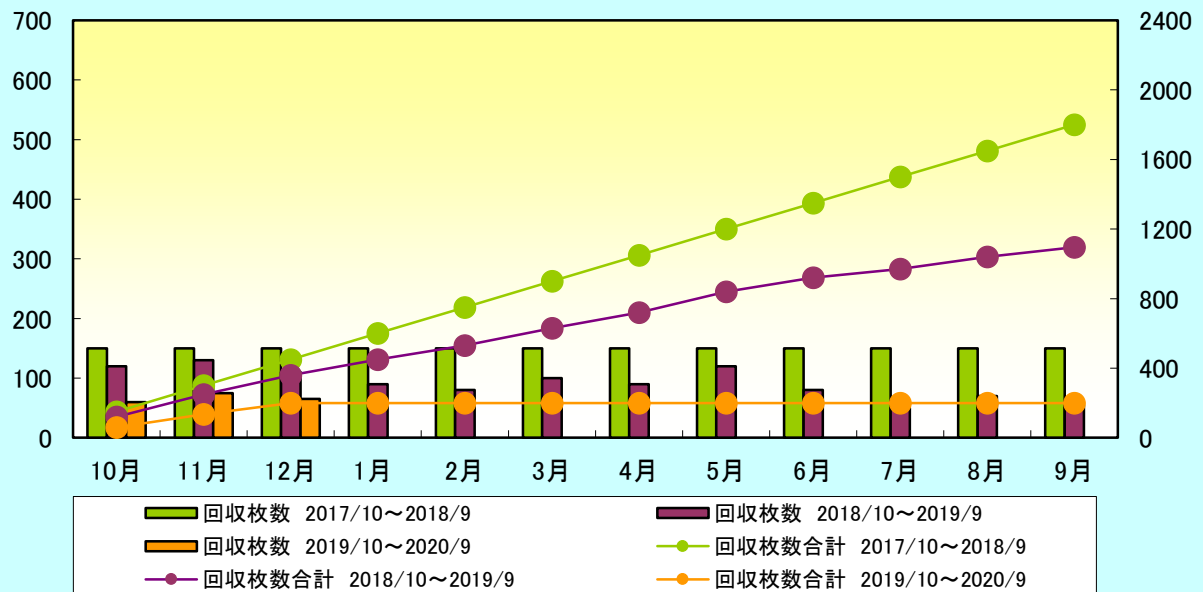
累計/折れ線(kwh)



使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

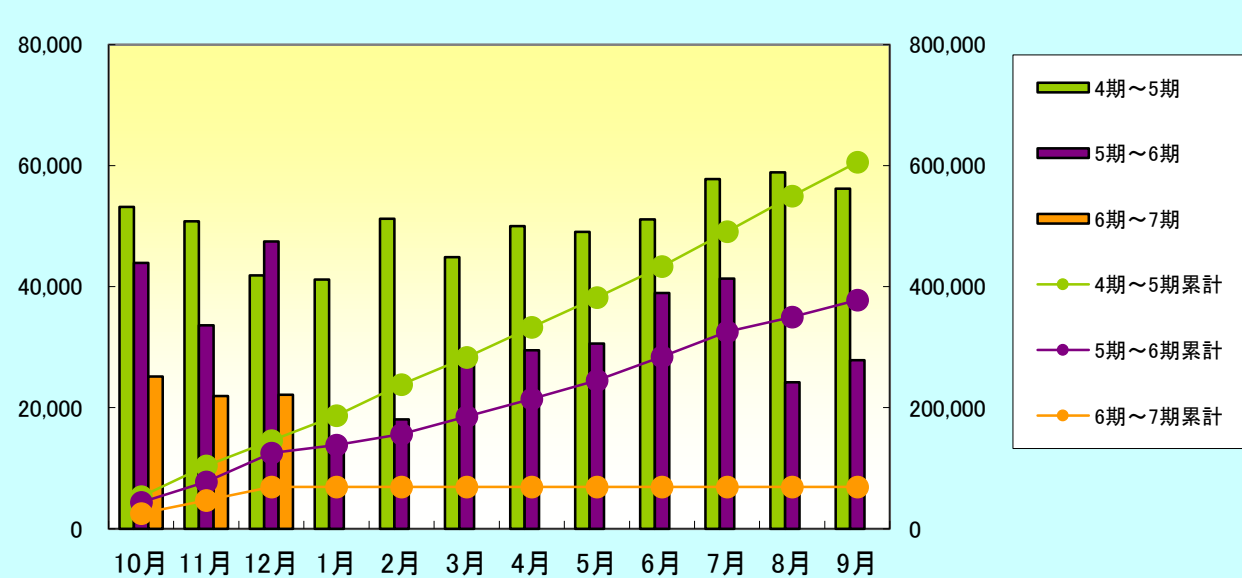
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●サンシン大学「健康筋力養成コース」の開講が7ヶ月目を迎えました。

2019年7月からスタートしましたサンシン大学「健康筋力養成コース」は、毎月1回プロのトレーナーにお越し頂き、2020年1月まで、延べ53名の国内外の社員が受講しました。海外拠点や東京以外の拠点からの受講者は、Skypeで受講しています。

当コースは、社員が就業時間内に好きなコースを選択して受講することが出来ます。コースは、1. 不調改善コース、2. 運動不足解消コース、3. ボディメイクコースの3つがあり、毎回、受講者が講師と相談しながら、自身の体調等に合ったコースをその場で選んで受講しています。

サンシン電気は、これからも健康経営^(※1)の一環として、社員の健康作り、ヘルスリテラシーの向上のための取り組みを進めて参ります。

(※1) 「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（12月参加人数：延べ6名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 動物介在ボランティア活動実施（ミタスライフ）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ：門松&お正月飾り

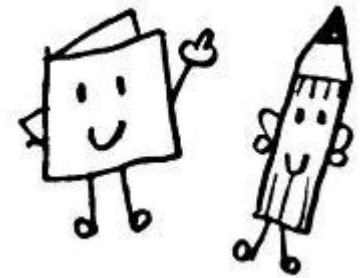


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績5名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 2ヶ月に1回、マッサージ・リフレクソロジーサービス実施（女性を中心に10名／回参加）、毎月「健康筋力養成コース」開講（6～10名／回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2019年5月更新）⇒3年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2019（中小規模法人部門）」の認定取得（2019年2月）⇒3年連続！
- 東京都より「令和元年度スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「令和元年度スポーツエールカンパニー」の認定3年連続取得（2017年～2019年）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能



サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

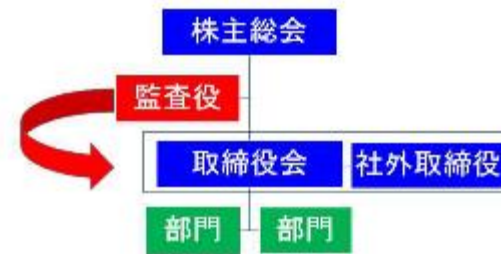
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



サンシングループの企業行動基準

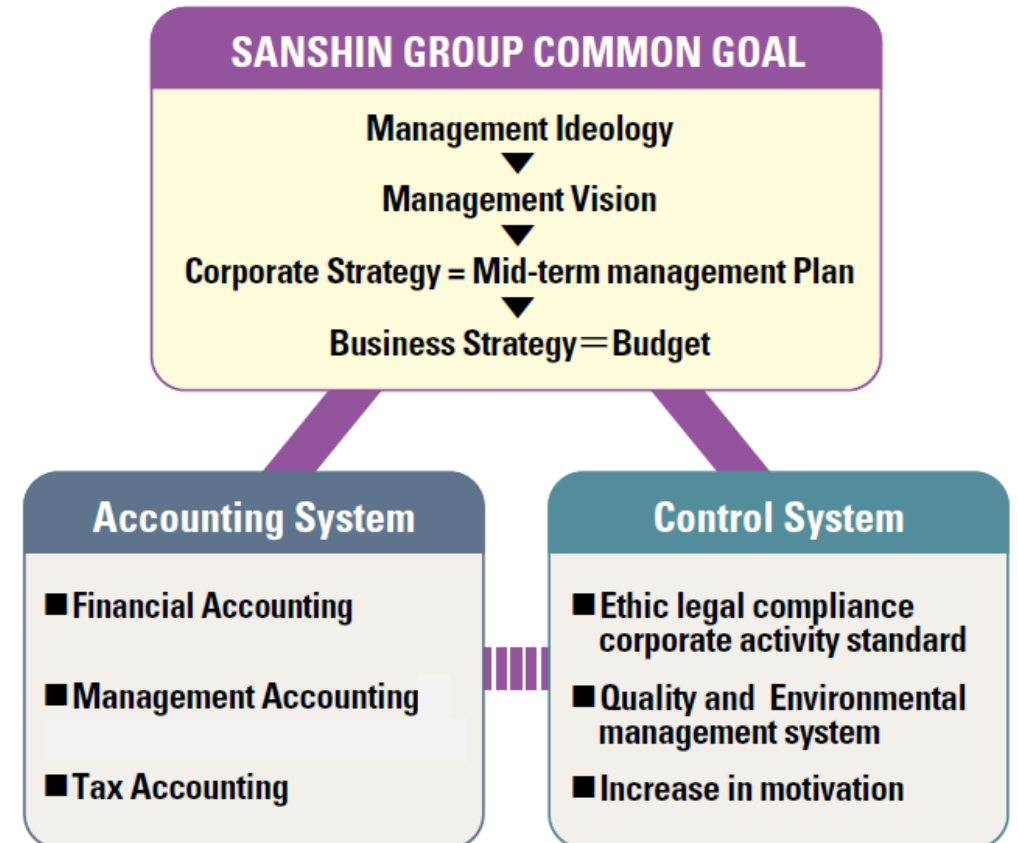
サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

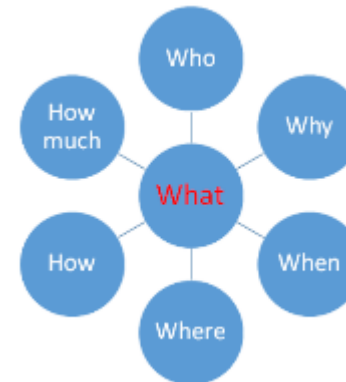
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H

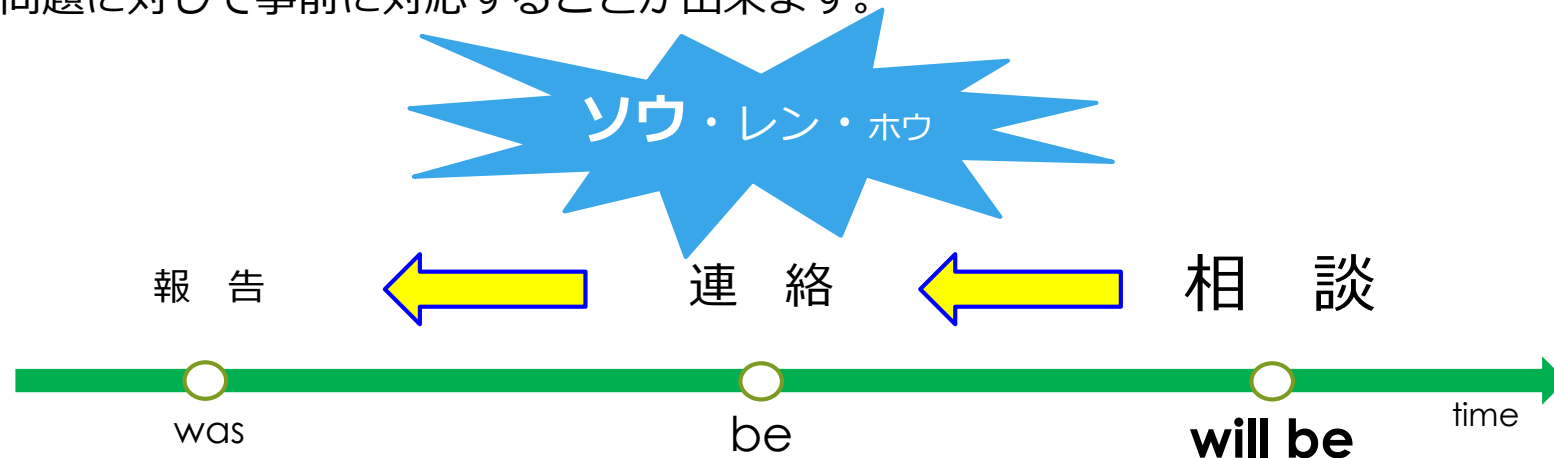


PDCA→P' サイクルの概念



未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

2020年最初のESGレポートです。本年もどうぞ宜しくお願い致します。さて、今年は東京オリンピックも開催され、今以上に日本に注目が集まります。年々日本を訪れる人も増え、今年は観光立国となれるかどうか真価が問われる年でもあると思います。街中でも外国人の姿を多く見るようになりましたが、おもてなしの心を忘れずに、手助けをできればと思っています。